

T_EXってなんだろうって方へ

T_EXの歴史とか抜きにして、文書を綺麗に見せる理工学系の文書ソフトと言えいいのでしょうか。数式を綺麗に表示することができ、その綺麗さは他の追随を許していません。例えば x を綺麗に見せるために $\$x\$$ とわざわざ $\$$ 記号で斜体にしたい文字をくくります。これで x が x と綺麗に表示されます。

ただワードのように視覚的でないため、タイプセットして出来栄を確認するしかないと思います(あるのかな?)。このように少し手間をかけることで無茶苦茶綺麗に表示することが可能です。いわば `emath` は T_EX の綺麗さを引き継ぎさらに綺麗になるように考えたものだとして認識しております。T_EX では \times は $\$times\$$, \div は $\$div\$$ と記述します。- も単体では - と表示されるため $\$-\$$ と数式扱いします。この流れは `emath` も同じです。また、`emath` では分数が通常の T_EX に比べて綺麗に表示されるのです。 $\$bunsuu{分母}{分子}\$$ と記述すれば、分数が表示されます。つまり、 $\frac{3}{22}$ は $\$bunsuu{3}{22}\$$ と書きます。ちなみに

T_EX の記述では $\frac{3}{22}$ と表示されます。

その他、中学数学で登場する有名な記号の記述方法は、円周率 π は $\$pi\$$ と記述します。 l は $\$ell\$$, \equiv は $\$equiv\$$, \equiv は $\$souzi\$$, $\sqrt{3}$ は $\$sqrt{3}\$$, 角度の $^\circ$ は $\$Deg\$$, 不等号は \leq は $\$leqq\$$, \geq は $\$geqq\$$ と書きます。思いつくのを書いただけですので、表の作成方法や、こんな記号はどうするのというのがあれば、`emath Wiki` や `TEX Wiki` をご参照ください。また文書作成にはひらがな入力以外は、全角入力は用いないというぐらいで、臨んだ方が良さそうですよ。

ちなみに、改行は $\$$ で実行しますが、多用はエラーのもとになります。

数学の問題を `emath` で作るときは、まず問題を解いてから問題を作らないと、どこがどうなっているのか分からないと思いますから、まずは問題を一通り解きましょう。そこから問題作成を始めましょう。

余計なことかもしれませんが、私は T_EX を学生の時に使ったこともありません。2011年から勉強を始めた、ひよっこです。だから、あなたもその気になれば、必ずできますよ。